

2026 年度 長岡大学シラバス

授業科目名	経済経営の現場を知る 1 (Topics of Economy and Management 1)					担当教員	王 子龍 (オウ シリュウ)	
2020-23 年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	地域志向科目／知識定着・確認 型 AL／外部講師招聘科目
	2013-0-11-040	教養科目	必修	2 単位	1 年次	後期		
2024-26 年度 入学者(24K-26K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	地域志向科目／知識定着・確認 型 AL／外部講師招聘科目
	2413-0-11-038	教養科目	必修	2 単位	1 年次	後期		

① 授業のねらい・概要						
本講義では、新潟県の産業や企業の事例を通して、地域経済の実態を理解することを目的とする。地元産業の特徴や企業活動を具体的に学ぶことで、地域社会と経済の関係を多角的に捉える。また、地域企業の理解に加え、金融業界で活躍する実務家による特別講義も予定しており、異なる分野の視点から経済・経営の現場について考察する。						
② ディプロマ・ポリシーとの関連						
地域社会に貢献する姿勢／職業人として通用する能力						
③ 授業の進め方・指示事項						
講義形式を基本とし、新潟県の産業構造や企業事例を取り上げながら解説する。必要に応じて資料や映像を活用し、現場理解を具体的に深める。また、理解の整理を目的としてワークシートや振り返り活動を取り入れる。						
④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能						
経済・経営の現場を知る 2						
⑤ テキスト(教科書) ※授業で使用する。						
指定教科書は使用しない。授業内で資料を適宜提示する。						
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。						
昭文社旅行ガイドブック編集部(2021)『新潟のトリセツ』昭文社。 その他、授業内で適宜紹介する。						
⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)						
地域経済や企業活動を具体的な事例から学ぶことは、経済・経営を理解するうえで重要である。本講義を通して、新潟の産業や企業への理解を深めるとともに、現実の経済活動を主体的に捉える視点を養ってほしい。						
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安						
(1)現場の事例を整理し、自分の見解を説明できる。 (2)事例企業のビジネスモデルを整理して説明できる。 (3)授業内容を踏まえ、地域や将来の進路等に結びつけた具体的な提案・応用例を示すことができる。						
⑨ ルーブリック						
評価基準		S	A	B	C	D
評価項目		到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(1)	現場の事例を踏まえ、経済・経営を現実的な視点から考察できる。	複数の事例を用い、背景・要因・結果を整理したうえで、事例間の比較を行い、自分の見解を根拠とともに論理的に述べることができる。	複数の事例を用い、背景・要因・結果を整理したうえで、自分の見解を根拠を示して述べることができる。	事例の背景・要因・結果を整理し、自分の見解を述べることができる。	事例の背景・要因・結果の主要な点を挙げ、自分の考えを述べることができる。	事例の内容を整理して自分の考えを述べるができない。
(2)	経営戦略・ビジネスモデルの理解	事例企業のビジネスモデルを要素に分解し、強み・課題を比較の視点から整理し、根拠を示して説明できる。	事例企業のビジネスモデルを要素に分解し、強み・課題を比較の視点から整理できる。	事例企業のビジネスモデルの要素を整理し、強み・課題を説明できる。	事例企業のビジネスモデルの要素を挙げて説明できる。	ビジネスモデルを説明できない。
(3)	実務的視点と応用力	授業内容を踏まえ、地域や将来の進路等に結びつけた具体的な提案・応用例を示し、実現方法や留意点も	授業内容を踏まえ、地域や将来の進路等に結びつけた具体的な提案・応用例を示すことができる。	授業内容を踏まえ、地域の課題や企業の取組に関して自分の視点で具体的に考えを述べるができる。	授業内容に関連づけて自分の考えを述べることができる。	自分の考えをまとめて述べるができない。

		含めて説明できる。						
⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計	
総合評価割合	60%		30%		10%		100%	
(1) 現場事例にもとづく考察力	25%		10%		5%		40%	
(2) 経営戦略・ビジネスモデルの理解	25%		15%		3%		43%	
(3) 実務的視点と応用力	10%		5%		2%		17%	
評価項目「その他」詳細								
フィードバックの方法	課題（ワークシート等）は授業内で要点を共有し、理解の整理を行う。							
⑪ 授業計画と学習課題								
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）						
1	ガイダンス：地域経済を学ぶ視点	新潟県の産業や企業について関心のある事例の一つ調べ、特徴を簡単にまとめる						120分
2	新潟県の産業構造	新潟県の主要産業について、配布資料や新潟県の統計資料を参考にしながら特徴を整理する。						120分
3	ものづくり産業	燕三条地域の産業の特徴や強みを整理する						120分
4	食品産業	新潟の米・日本酒産業の特徴とブランド力の要因を整理する						120分
5	観光と地域資源	新潟の観光資源を一つ取り上げ、地域経済との関係をまとめる						120分
6	中小企業と地域経済	中小企業が地域社会に果たす役割を具体例で整理する						120分
7	地域企業事例①	取り上げた企業の事業内容と特徴を整理する						120分
8	地域企業事例②	取り上げた企業の事業内容と特徴を整理する						180分
9	人口減少と地域経済	人口減少が地域産業に与える影響を整理する						120分
10	地域経済と雇用	新潟県の雇用の特徴（業種・働き方など）を整理する						120分
11	◆外部講師による講義（金融業界の現場から学ぶ）	講義内容の中で印象に残った点を整理し、地域経済との関係をまとめる						120分
12	地域経済と全国経済	地域経済と全国経済のつながりを具体例で整理する						120分
13	地域経済の課題	新潟県の課題を一つ選び、背景と影響を整理する						180分
14	授業内容の整理	これまで扱った地域産業や企業事例を振り返り、重要なポイントを整理する						120分
15	総括	授業全体を振り返り、地域経済への理解をまとめる						180分
⑫ アクティブラーニングについて								
知識定着・確認型アクティブラーニングとして、ワークシートや振り返り活動を取り入れ、地域産業や企業への理解を深める。								

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	
実務経験と授業科目との関連性	